

稲沢市コミュニティバス 利用者アンケート調査集計結果

平成28年11月

市長公室地域振興課

目 次

1	利用者アンケート調査集計結果	1
(1)	アンケート調査の概要	1
(2)	アンケート調査の結果	2
ア	アンケートの属性	2
イ	設問	4
2	コミュニティバス及びコミュニティタクシーに関する意見・要望	18

1 利用者アンケート調査集計結果

(1) アンケート調査の概要

この調査は、平成26年11月4日に変更した『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』に基づき運行しているコミュニティバスの利便性向上に向け、『同計画』の見直しを検討するに当たり、その資料とすることを目的として実施しました。

ア 調査期間

平成28年9月5日（月）から17日（土）までの12日間

イ 調査対象

調査期間中における支線のコミュニティバス利用者

ウ 調査項目

- 利用された路線について
- 利用されたバス停留所について
- コミュニティバスの利用頻度について
- 利用された時間帯について
- コミュニティバスの主な利用目的について
- 主な目的地について
- 最寄りの停留所まで徒歩でかかる時間について
- 各路線における経費負担額と運行路線の見直しについて
- コミュニティバスの改善点について
- 新たな停留所の設置を期待される目的地・行き先について
- コミュニティタクシーの利用について

エ 調査方法

- 各路線のコミュニティバス乗務員が「アンケート用封筒（アンケート用紙・返信用封筒入り）」を利用者へ配布。
その後、利用者が回答した「アンケート用紙」を返送。
- 原則として、利用者1人に対して「アンケート用封筒」を1回配布。

オ 配布数、回収数等について

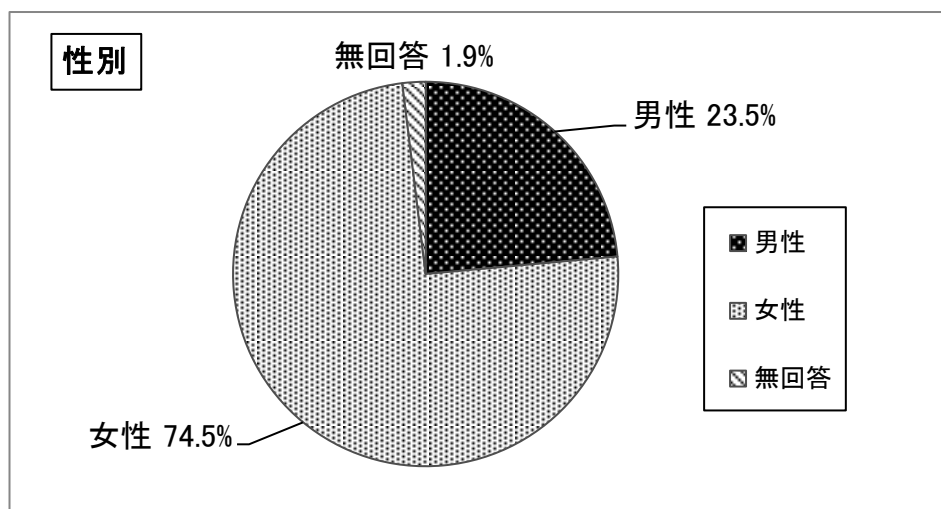
- 調査票配布数・・・1,000部（追加便利用者除く。）
- 調査票回収数・・・310部（回収率31.0%）

(2) アンケート調査の結果

ア アンケート対象の属性

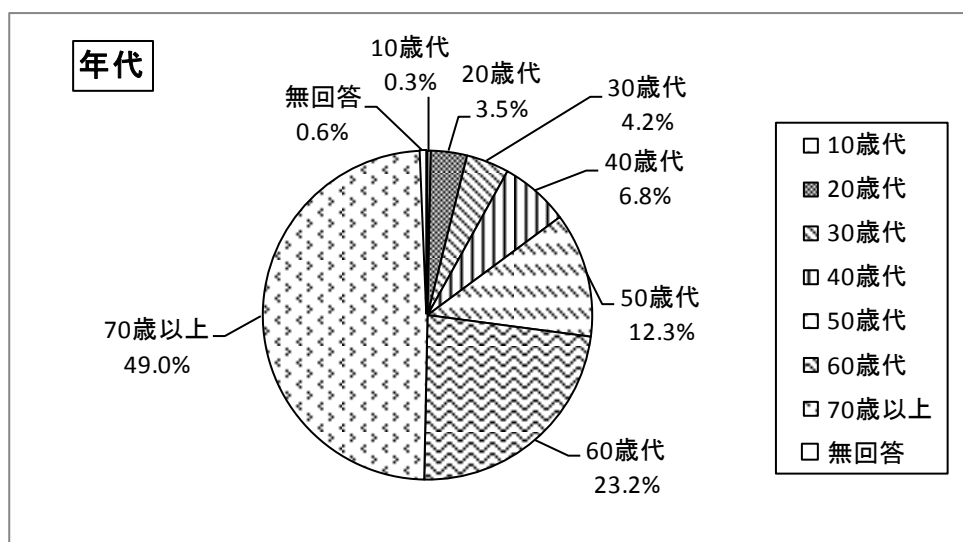
◎ 性別

○ 女性の利用者が4分の3近くを占め、女性の割合が圧倒的に高くなっています。



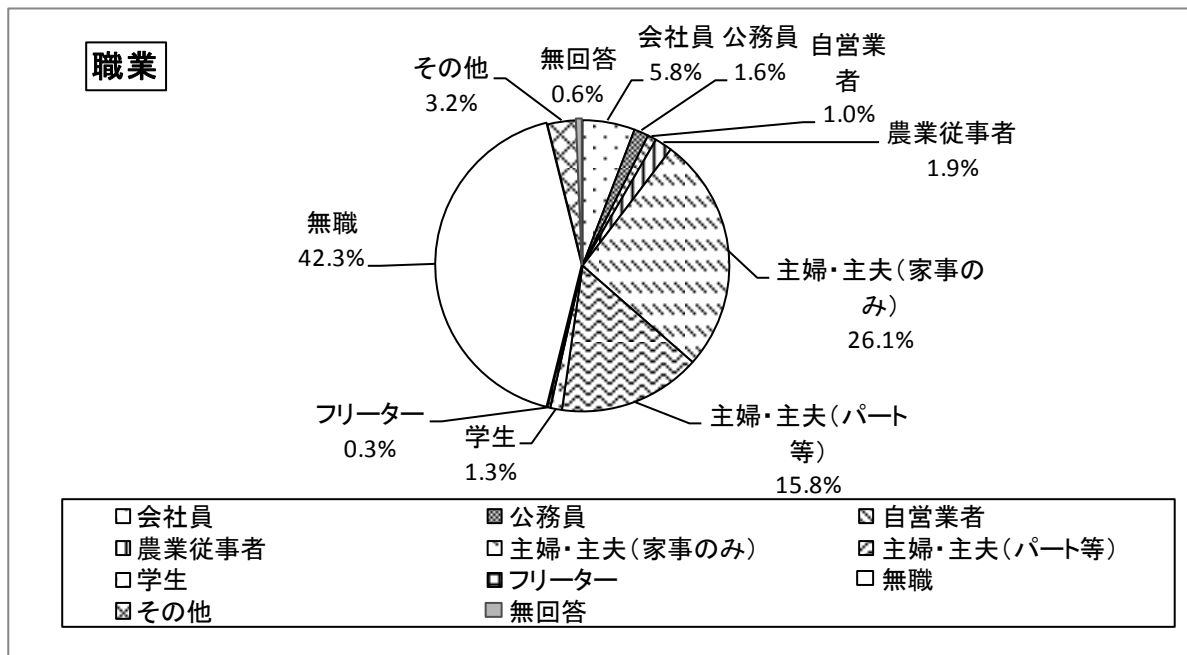
◎ 年代

○ 幅広い年代のかたが利用されていますが、高齢者の占める割合が圧倒的に高く、高齢になればなるほど利用が多くなる傾向にあります。70歳代以上は49.0%、60歳代以上は72.2%、50歳代以上にあつては84.5%の割合を占めています。



◎ 御職業

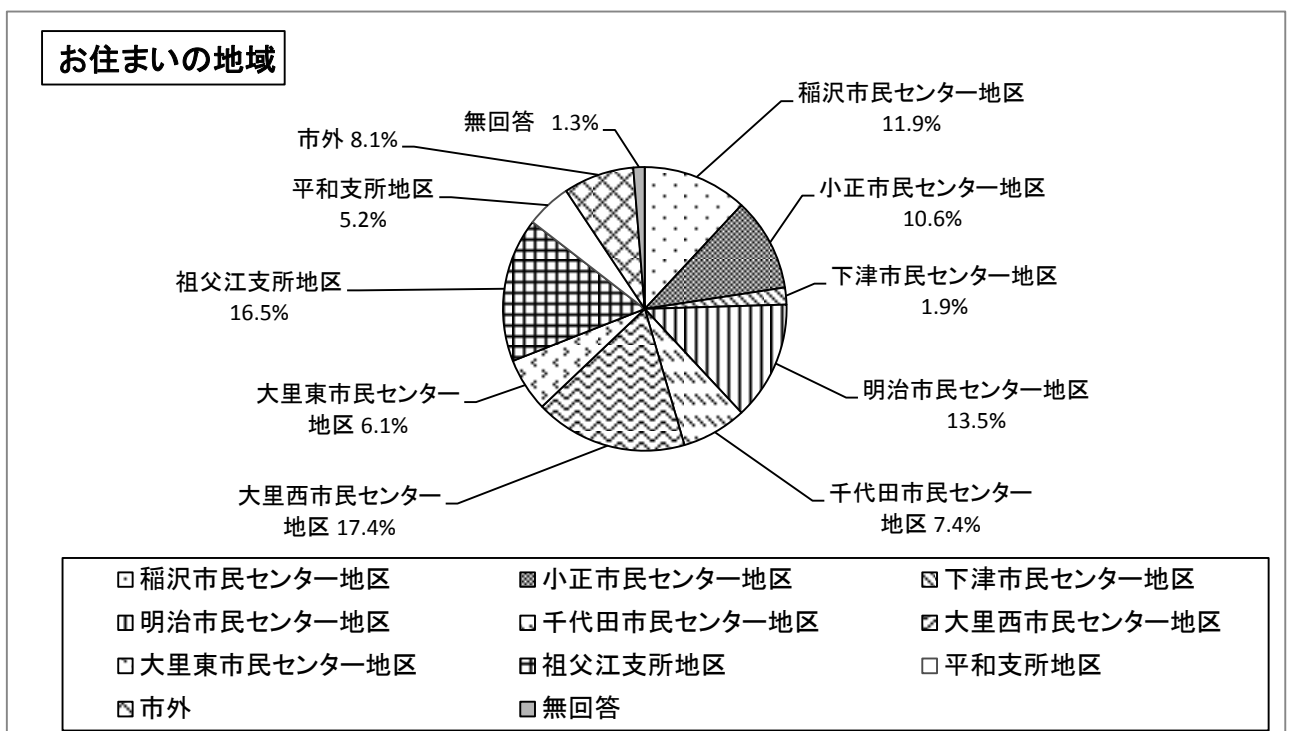
○ 様々な職種のかたが利用されていますが、「無職」と「主婦・主夫」のかたを合わせますと 84.2% の割合を占めます。



◎ お住まいの地域

○ 「大里西市民センター地区」が 17.4%、「祖父江支所地区」が 16.5%、「明治市民センター地区」が 13.5%、「稲沢市民センター地区」が 11.9%、「小正市民センター地区」が 10.6%の順になっております。

「市外」の利用者が 8.1%となっており、「千代田市民センター地区」、「大里東市民センター地区」、「平和支所地区」、「下津市民センター地区」よりも多くなっています。



イ 設問

問1 どの路線を利用されましたか。

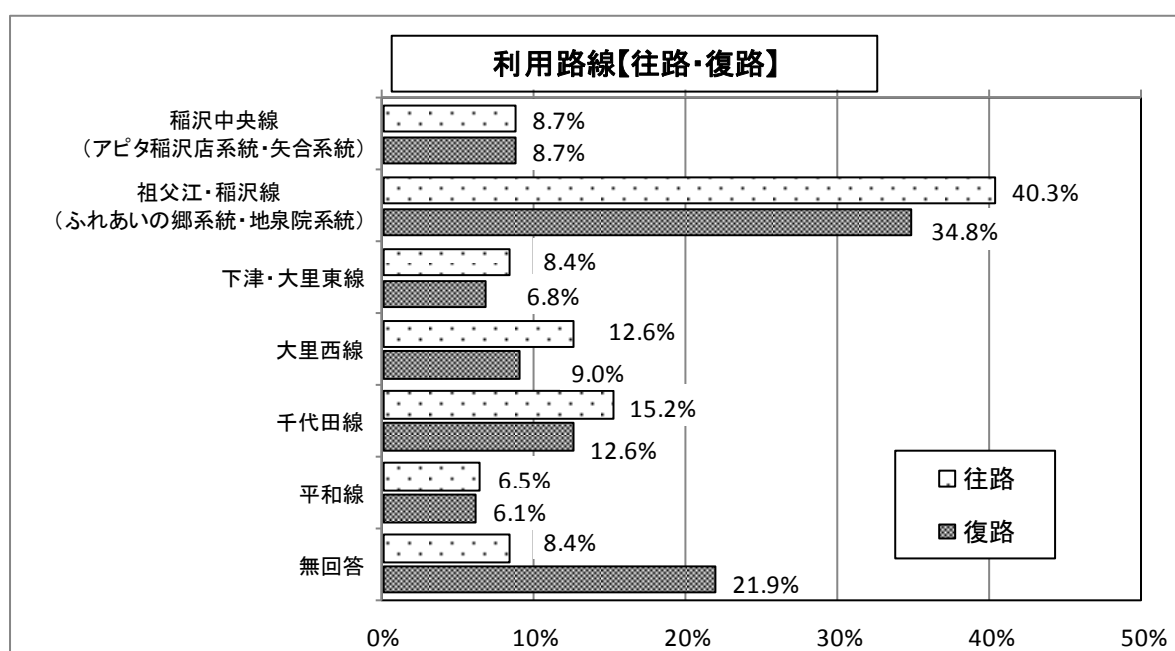
往復で利用された場合は、それぞれ次の項目の中から1つ選んで記入してください。

なお、乗継ぎをされた場合は、乗継ぎ後の路線を記入してください。

○ 祖父江・稲沢線、次いで千代田線、大里西線の利用者が多い傾向です。往路で最も多い利用は「祖父江・稲沢線 (40.3%)」、次いで「千代田線 (15.2%)」、「大里西線 (12.6%)」となり、復路での最も多い利用は「祖父江・稲沢線 (34.8%)」、次いで「千代田線 (12.6%)」、「大里西線 (9.0%)」と往路と同様の結果となっています。

下津・大里東線及び平和線につきましては、10%に満たない利用率で、上記路線と比較すると低調な利用状況となっています。

○ 乗継ぎをされたかたの状況は、往路で45件、復路で37件の利用がありました。



【乗り継ぎをされたかたの状況】	(回答数)	
	往路	復路
稲沢中央線 (アピタ稲沢店系統・矢合系統)	11	3
祖父江・稲沢線 (ふれあいの郷系統・地泉院系統)	12	4
下津・大里東線	4	2
大里西線	4	10
千代田線	6	11
平和線	8	7
合計	45	37

問2 どちらのバス停留所を利用されましたか

往路、復路について、それぞれ利用された停留所名を記入してください。

○ 御回答いただいた結果は次のとおりです。駅、病院、量販店付近の停留所での乗降が多くなっています。

【利用されたコミュニティバス停留所の状況】

(回答数)

停留所番号	停留所名	往路・乗車	往路・降車	復路・乗車	復路・降車
1	ふれあいの郷	1	7	7	0
2	江西	1	0	0	1
3	下沼	4	0	0	1
4	善光寺南	0	0	1	0
5	祖父江支所	10	2	2	8
6	祖父江口	5	1	0	4
7	鶴塚	0	0	0	0
8	祖父江町体育館	2	1	2	3
9	稲沢厚生病院	3	30	25	3
10	森上駅	12	4	3	9
11	日光	6	1	0	5
12	片原一色	3	1	1	3
13	愛知西農協明治支店	2	1	0	2
14	明治市民センター	3	1	1	3
15	西島新町	11	2	2	8
16	清水	3	0	0	2
17	天池	3	0	0	1
18	アピタ稲沢店	3	27	28	10
19	ヨシツヤ新稲沢店	14	9	9	11
20	稲沢市役所	2	4	2	3
21	石橋	0	1	1	0
22	木全	3	0	0	2
23	江越	2	0	0	3
24	本郷	4	1	2	0
25	稲島十丁目	3	0	0	3
26	松下西	2	1	1	1
27	国府宮駅	34	52	45	31
28	正明寺	3	2	0	3
29	小池南	3	4	3	1
30	稲沢市民病院	11	59	50	10
31	地泉院	0	0	0	0
32	愛知西農協長岡支店	1	1	0	1
33	富士美ヶ丘南	4	1	0	3
34	中牧西	0	0	0	0
35	中牧	0	0	0	1
36	祖父江の森	0	1	0	0
37	下津市民センター	1	0	0	0
38	リーフウオーク稲沢	3	9	7	2
39	長野	1	0	1	1
40	JR稲沢駅西口	3	8	6	1

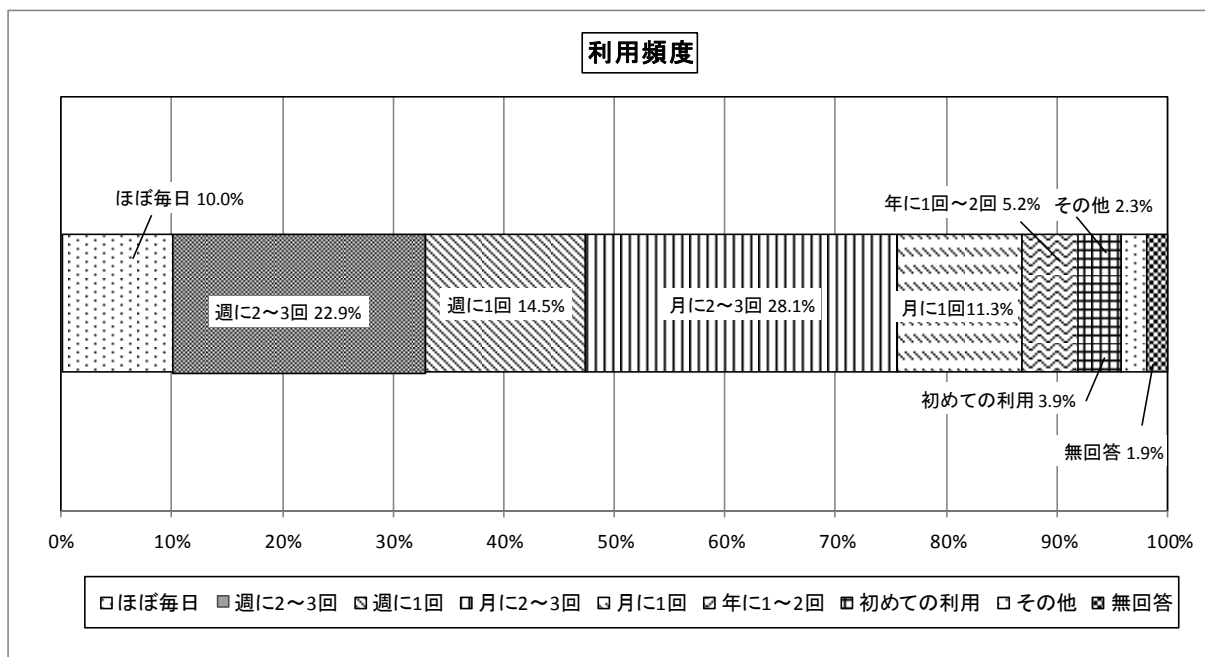
停留所 番号	停留所名	往路・乗車	往路・降車	復路・乗車	復路・降車
41	駅前一丁目	3	0	0	3
42	小池二丁目	3	0	0	3
43	長束	5	0	0	3
44	パールシティ	2	2	2	0
45	大里東市民センター	1	2	2	2
46	日下部郵便局	2	0	0	3
47	大里駅	20	2	1	13
48	大里西市民センター	0	0	0	0
49	田畑	4	0	0	3
50	宮長	2	0	0	2
51	緑町	11	2	1	7
52	アクロスプラザ稲沢	11	4	6	12
53	勝幡駅	6	6	4	4
54	氷室	2	0	0	2
55	坂田	3	0	0	2
56	田代団地北	5	0	0	4
57	目比	0	0	0	0
58	野崎	2	1	0	2
59	千代田市民センター	2	4	3	3
60	附島	2	0	0	2
61	大矢	2	1	0	1
62	大矢北	1	3	1	1
63	南緑町	10	0	0	10
64	大塚	1	0	0	0
65	高御堂住宅西	4	2	1	2
66	東城	3	0	0	3
67	北津島病院北	2	5	3	2
68	ヨシツヤ平和店	3	3	3	4
69	平和工業団地	0	2	0	0
70	平和支所・らくらくプラザ	0	0	2	1
71	下三宅	2	1	1	2
72	観音堂	0	0	1	0
73	井堀	0	0	0	0
74	堀之内	2	1	1	2
75	矢合口	0	0	0	0
76	矢合観音北	0	1	0	0
77	松下町	1	0	0	0
78	小沢	0	0	0	0
79	城見ヶ丘	0	1	1	0
80	稲沢町前田	0	0	0	0
81	美術館・保健センター	0	0	0	0
82	稲沢公園	0	1	1	1
83	朝府	3	0	0	0
84	国分団地	0	0	0	0
85	船橋	0	0	0	0
86	矢合観音	0	0	0	0
99	無回答	24	35	77	71

問3 コミュニティバスをどの程度利用されていますか。

○ 以下の上段の表が今回のアンケート調査結果、下段の表が平成24年9月の利用者アンケート（調査対象者数254人）です。

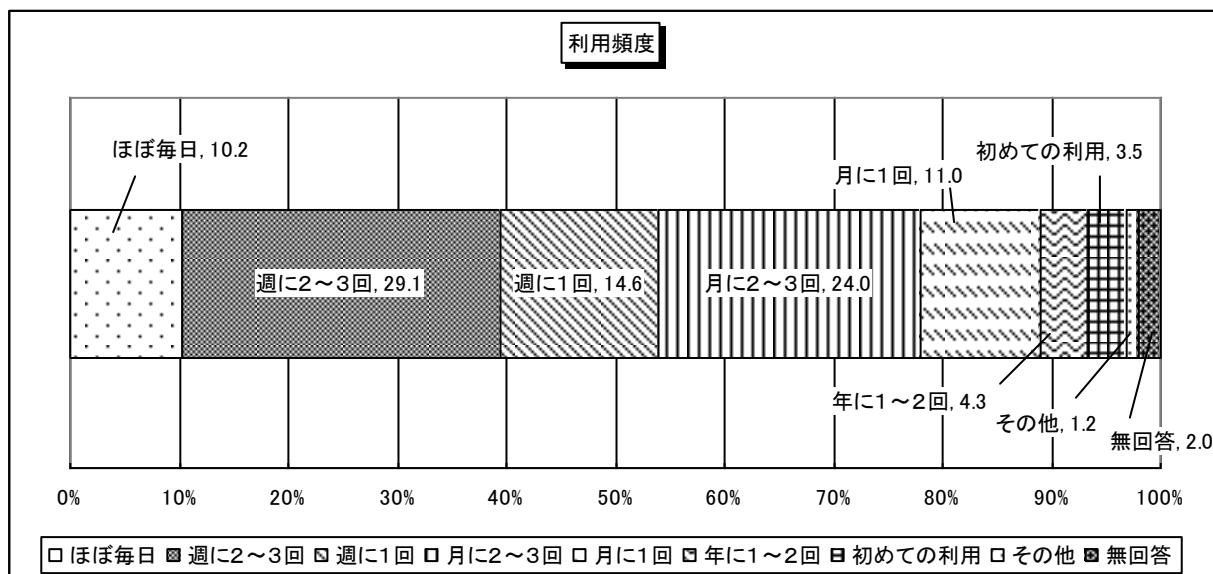
「ほぼ毎日」と「週に1回」の項目は前回の調査時と比較して横ばいとなっています。

また、「週に2～3回」が22.9%となっており、前回の調査時と比較すると6.2%減少となっております。



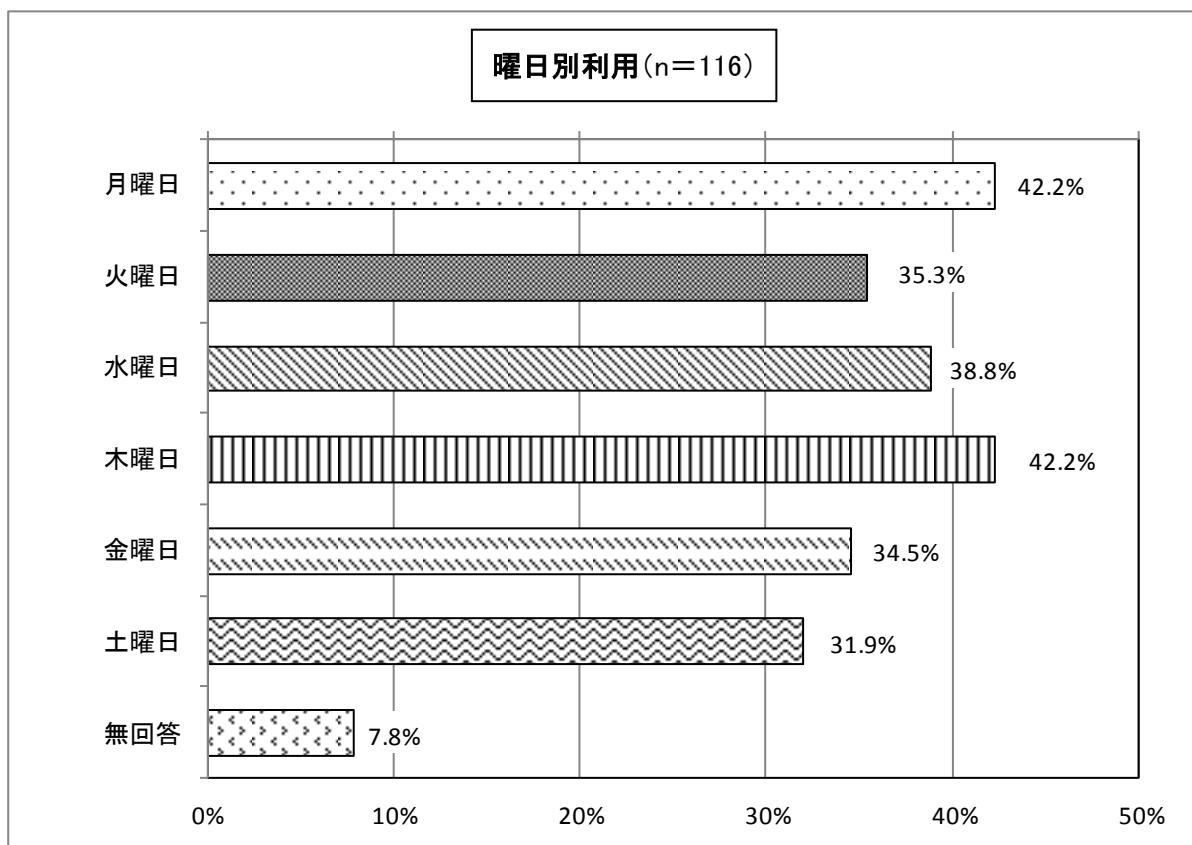
【参考】平成24年9月実施 利用者アンケート調査（調査対象者数254人）

「どの程度コミュニティバスを利用していますか」の設問に対する回答



問4 問3で「週に2～3回」または「週に1回」を選ばれた方にお伺いします。
コミュニティバスを利用されるのは、主に何曜日ですか。

○ 下表は問3で「週に2～3回」または「週に1回」を選ばれた116人の回答となります。
最も利用の多い「月曜日」及び「木曜日」が42.2%、最も利用の少ない「土曜日」が31.9%
となっており、平日の利用に比べると土曜日の利用が若干少なくなっております。

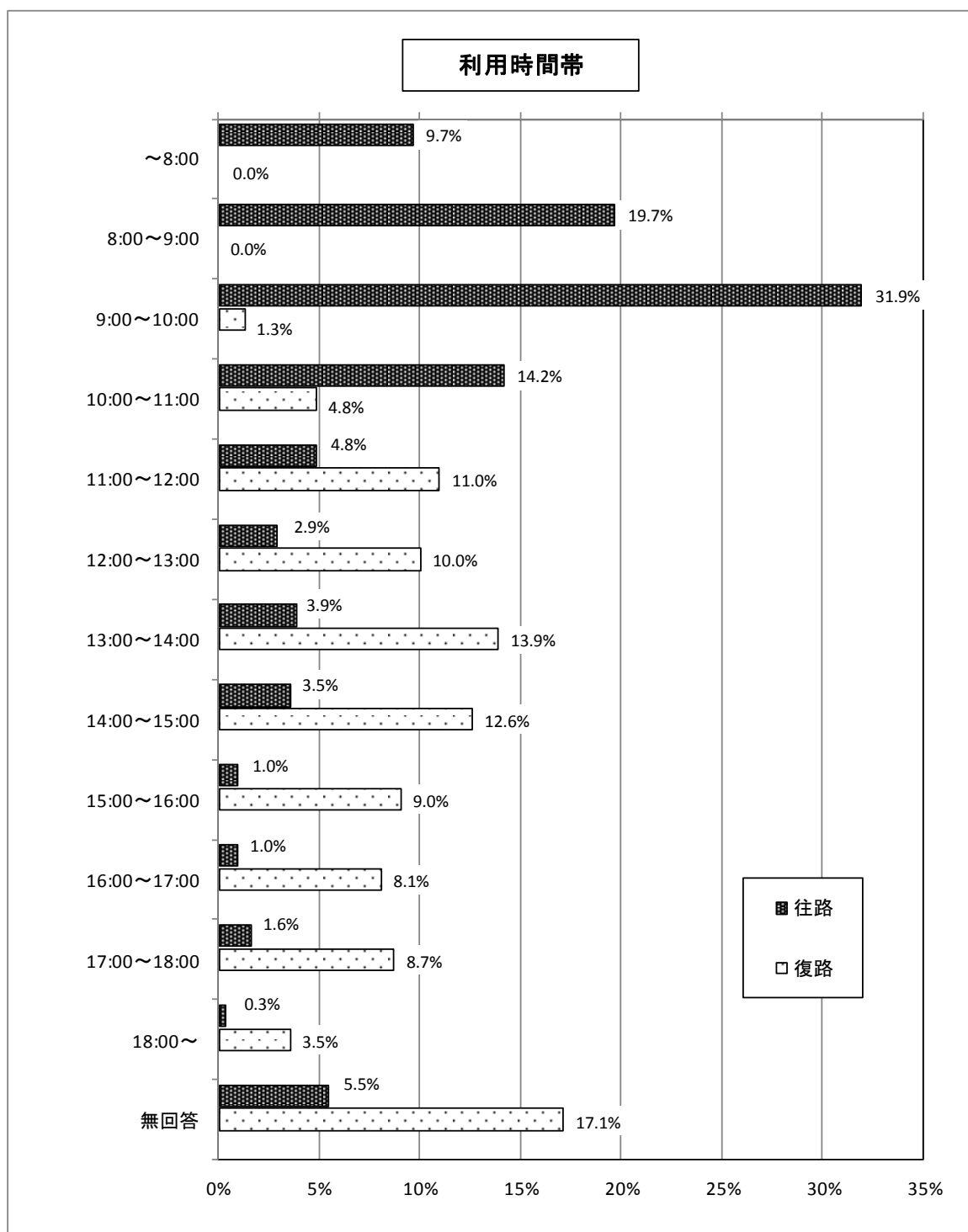


問5 コミュニティバスに乗車された時間帯は、どの時間帯でしたか。

○ 往路の最も利用の多い時間帯は「9:00~10:00」で31.9%、次いで「8:00~9:00」の19.7%、「10:00~11:00」の14.2%の順となっています。

復路の最も利用の多い時間帯は「13:00~14:00」の13.9%、次いで「14:00~15:00」が12.6%、「11:00~12:00」が11.0%となっております。

復路は「13:00~14:00」をピークとして、11:00から17:00までの時間帯において分散して利用されております。

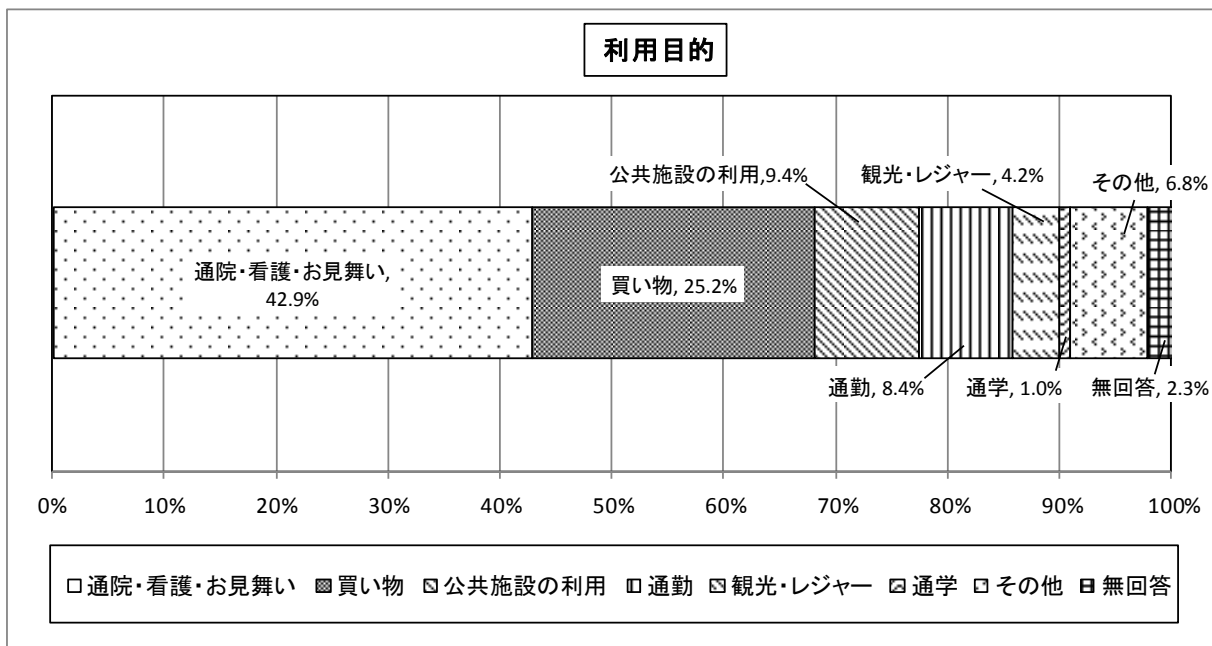


問6 コミュニティバスをどのような目的で利用されましたか。

○ 上段の表は、今回の調査結果です。最も利用目的が多いのが「通院・看護・お見舞い」で42.9%、次いで「買い物」が25.2%、「公共施設の利用」が9.4%、「通勤」が8.4%でした。

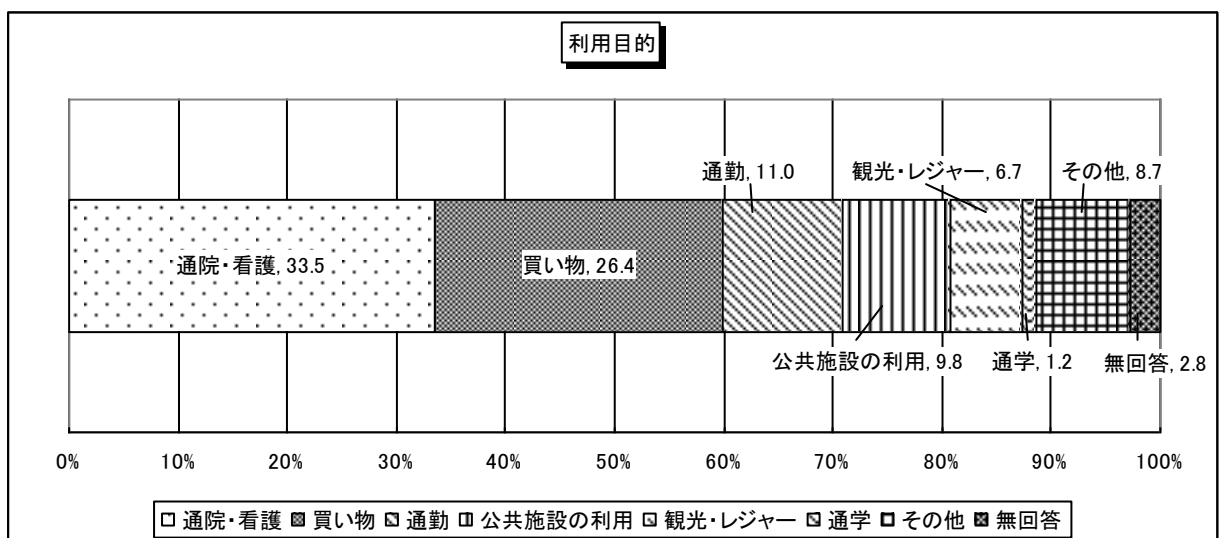
「通院・看護・お見舞い」と「買い物」で68.1%と半数以上を占め、これに「公共施設の利用」を含めると77.5%、さらに「通勤」を含めると85.9%となりますので、多くのかたがこの4つの目的で利用されていることがわかります。

参考までに下段に平成24年9月利用者アンケート調査結果（調査対象者数254人）を掲載しました。前回の調査時は「通院・看護」、「買い物」、「公共施設の利用」、「通勤」の合計が80.7%でしたので、同様の利用方法が継続されているものと考えられます。



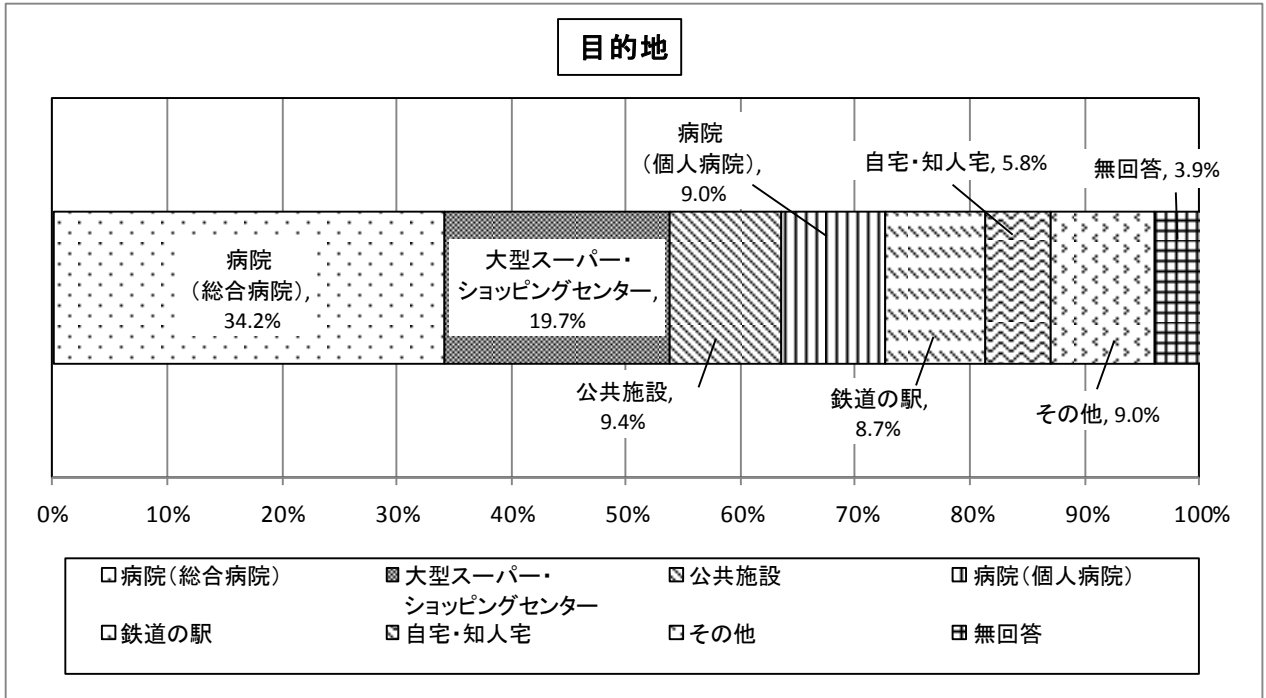
【参考】平成24年9月実施 利用者アンケート調査（調査対象者数254人）

「主にコミュニティバスをどのような目的で利用されますか。」の設問に対する回答



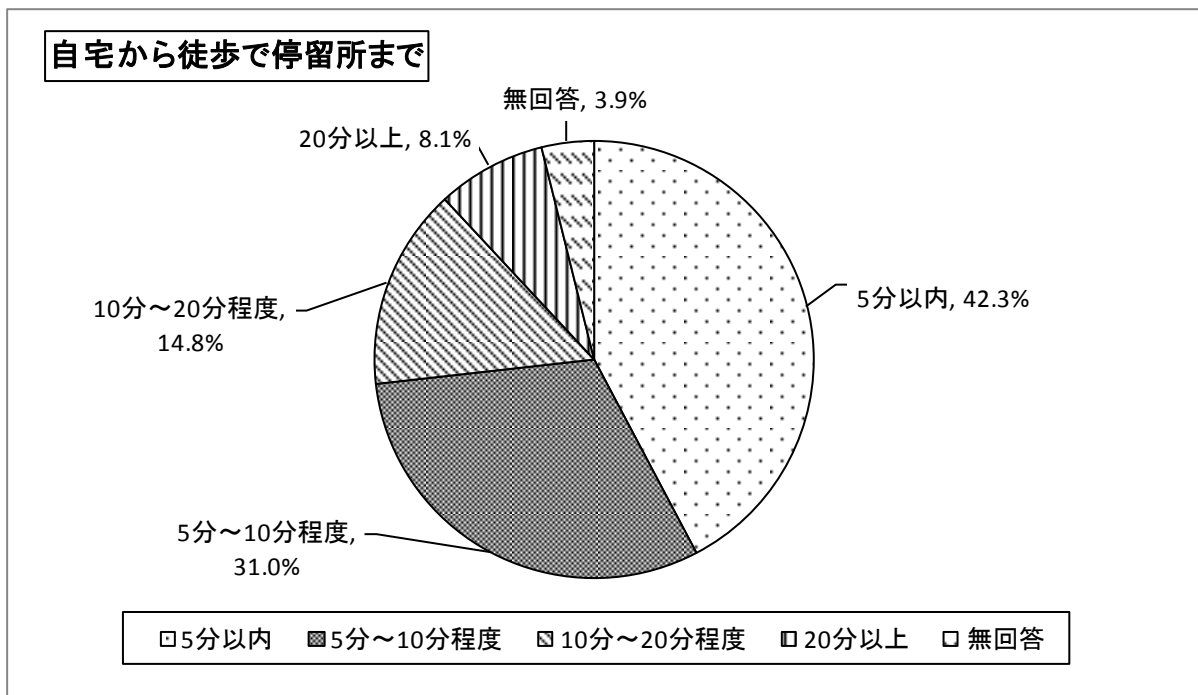
問7 コミュニティバスを利用してどちらへ行かれましたか。

○ 「病院（総合病院）」が34.2%と最も多く、次いで「大型スーパー・ショッピングセンター」が19.7%、「公共施設」が9.4%、「病院（個人病院）」が9.0%、「鉄道の駅」が8.7%の順となっております。



問8 あなたの御自宅から最寄りの停留所まで徒歩で何分掛かりますか。
次の項目の中から1つ選んで番号を記入してください。

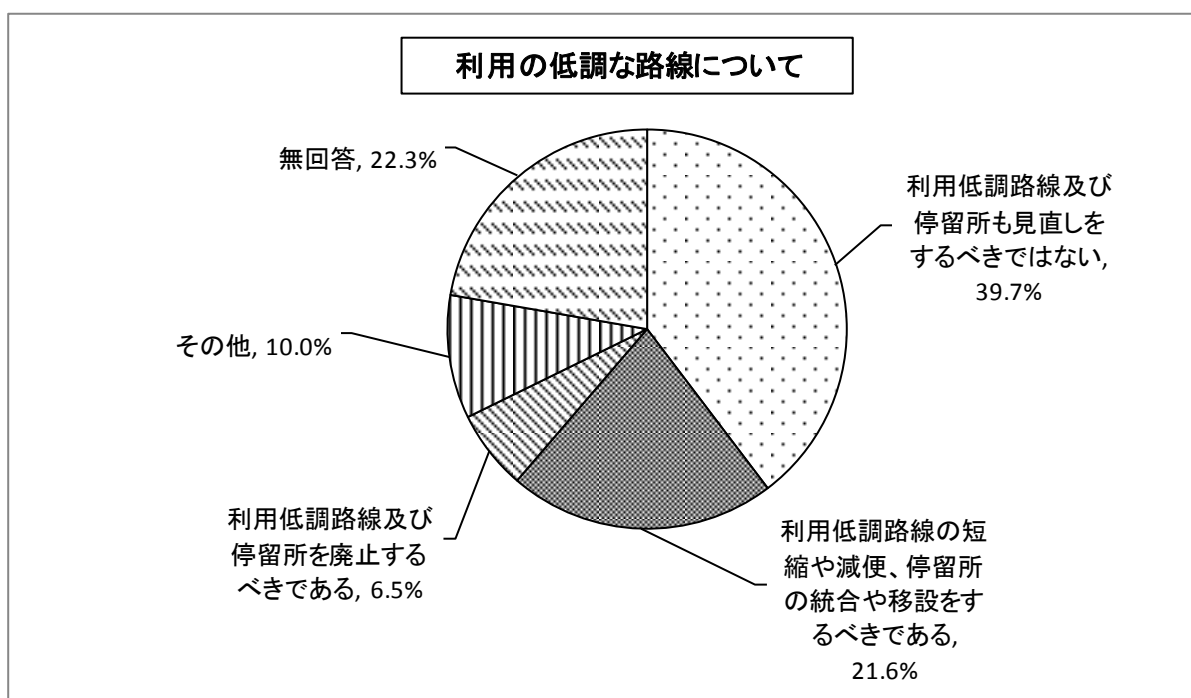
○ 「5分以内」が最も多く42.3%、「5分から10分程度」が31.0%、「10分から20分程度」が14.8%ですので、停留所までの移動時間が10分を超えると大きく落ち込むものと考えられます。また、「20分以上」であっても8.1%のかたに御利用いただいています。



問9 コミュニティバスの運行経費には、利用者の皆様からいただく利用料金のほかに、市が支出する委託料（平成26年度：約5,482万円、平成27年度：約8,089万円）が必要となっています。そのため、利用の低調な運行路線や停留所は、見直しを検討する必要がありますと考えています。

次の項目の中から1つ選んで番号を記入してください。

○ 最も多い回答が「利用の低調な運行路線及び停留所も見直しするべきではない」が39.7%、「利用の低調な運行路線の短縮や減便、停留所の統合や移設をするべきである」が21.6%。「利用の低調な運行路線及び停留所を廃止するべきである」が6.5%でした。見直しをするべきでないというかたが最も多いですが、過半数を超えるには至っていません。

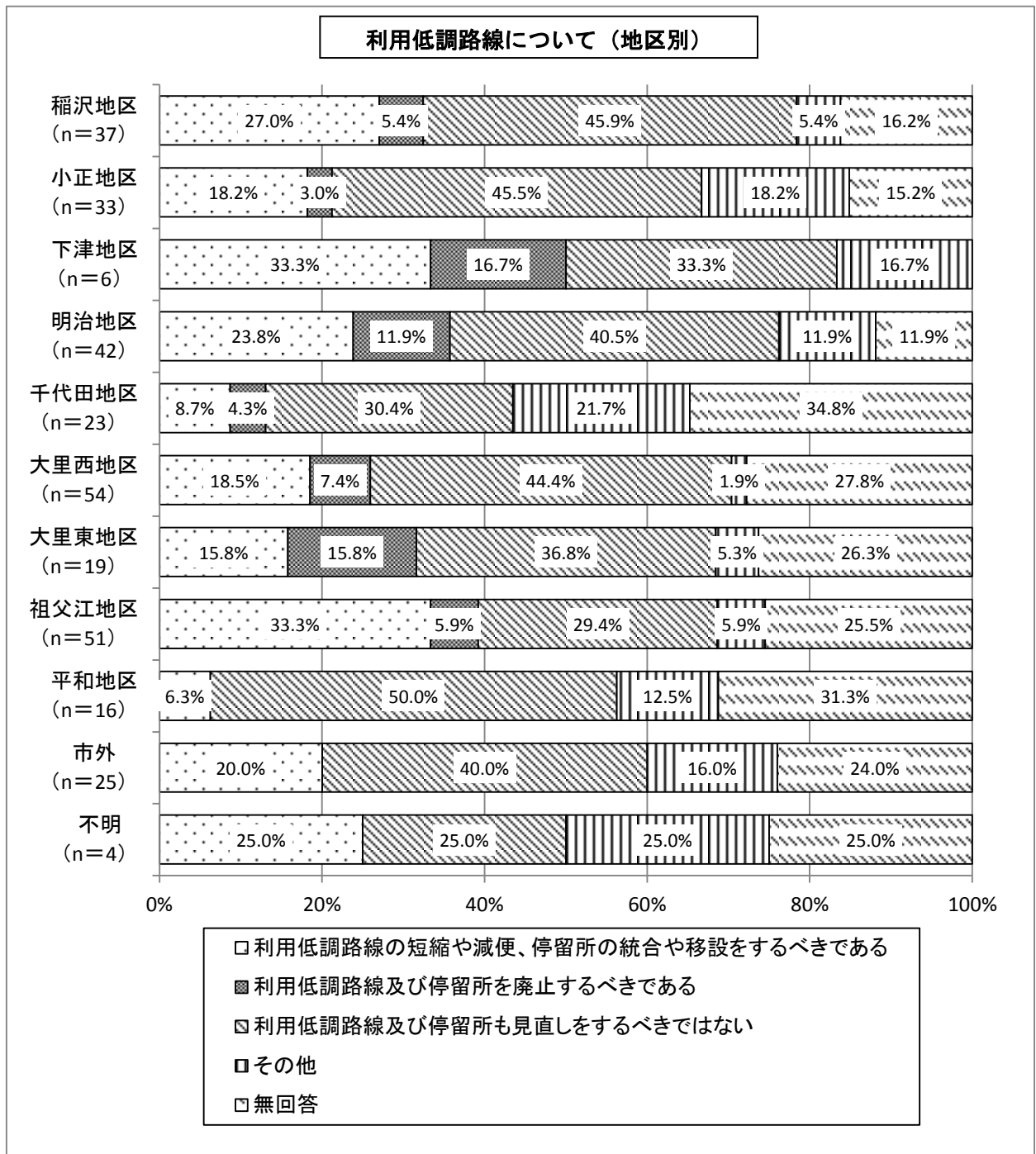


○ 下表は、この設問の回答を地区別に表したものです。

「利用の低調な運行路線及び停留所も見直しするべきではない」が平和地区で 50.0%、稲沢地区、小正地区、明治地区、大里西地区、市外で 40%を超えています。

「利用の低調な運行路線及び停留所を廃止するべきである」が多い地区は、下津地区で 16.7%、大里東地区で 15.8%、明治地区で 11.9%となっています。

「利用の低調な運行路線の短縮や減便、停留所の統合や移設をするべきである」が多い地区は、下津地区と祖父江地区がそれぞれ 33.3%、稲沢地区が 27.0%、明治地区 23.8%となっています。



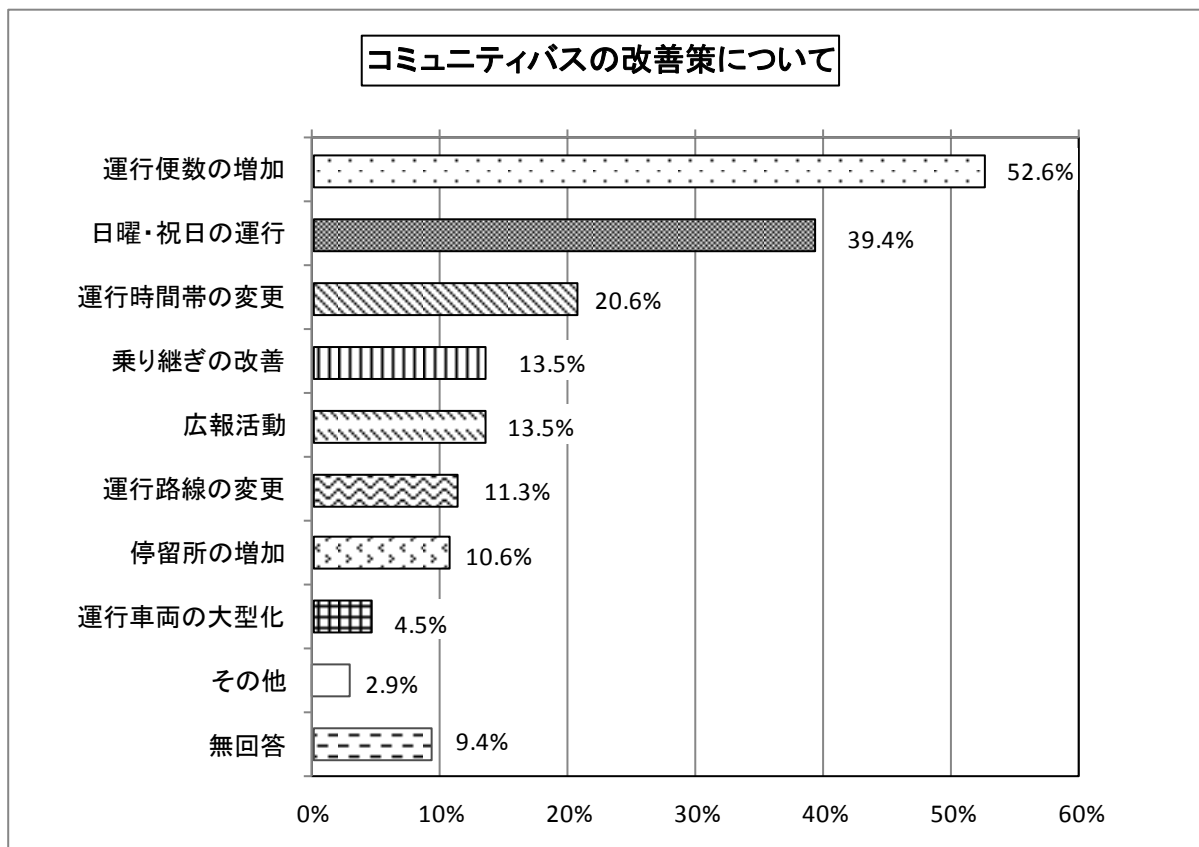
問10 より多くのかたにコミュニティバスを利用していただくための改善策として、どのようなことが有効だと思われませんか。

また、改善すべきことがあるとすれば、どのようなことが有効だと思われませんか。

次の項目の中から2つまで選んで記入してください。

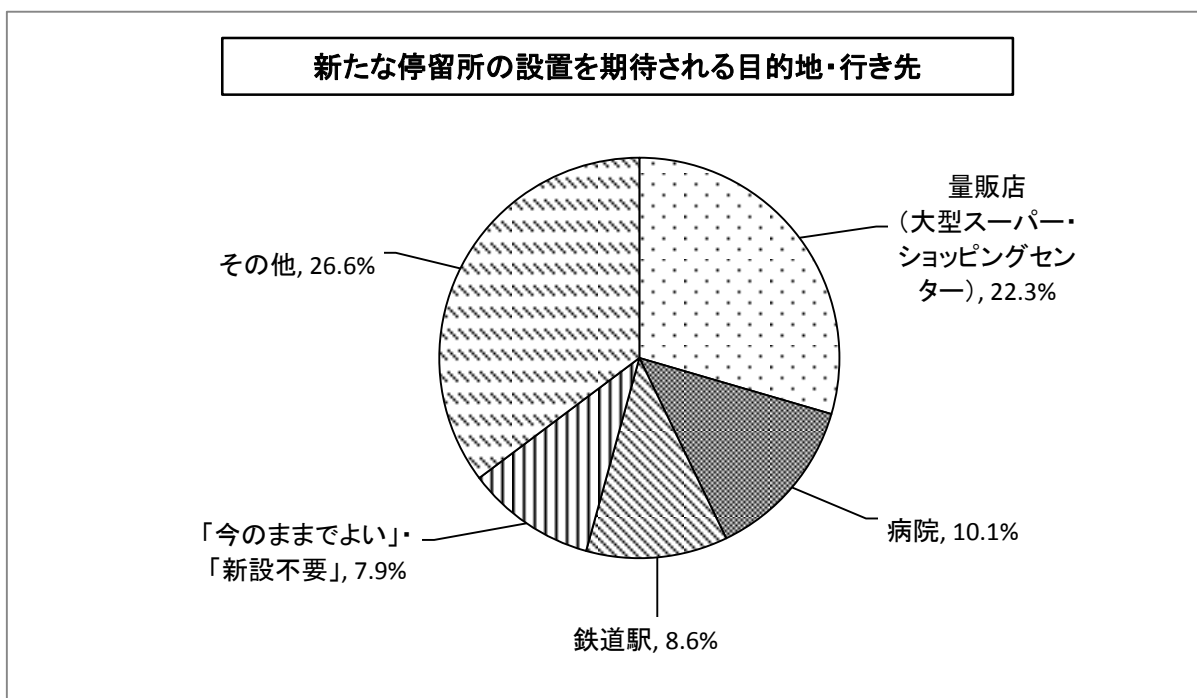
○ 回答の多かった順に「運行便数の増加」、「日曜・祝日の運行」、「運行時間帯の変更」「乗り継ぎの改善」でした。

「日曜・祝日の運行」も運行便数の増加として考えられるため、利用者のかたがたは増便を強く望まれていることがわかります。



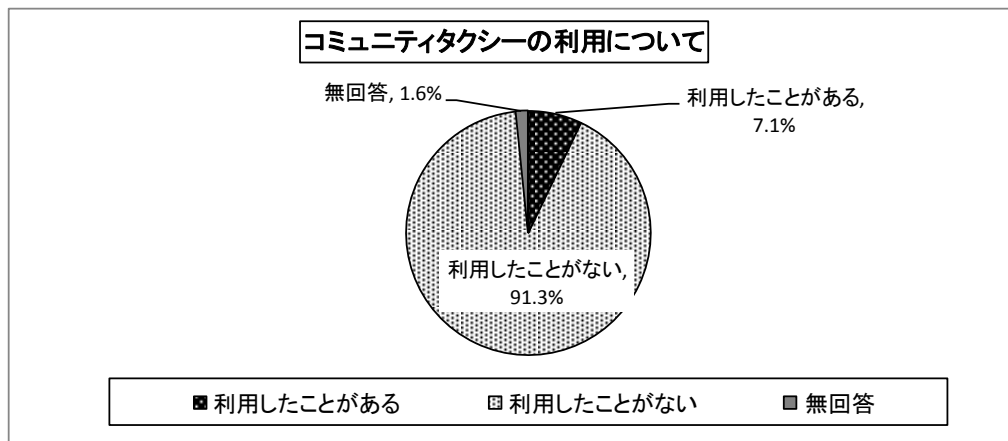
問11 コミュニティバスの新たな目的地（行き先）として停留所を設けるならば、どこへ設けるのが良いと思われますか。
施設名などを御記入ください。

○ 記載された施設名等を以下のように分類しました。
「量販店（大型スーパー・ショッピングセンター）」が22.3%と最も多く、次いで病院が10.1%、鉄道駅が8.6%となっております。
その他といたしましては、停留所のない公共施設や、コンビニエンスストア、市外の量販店などの回答がありました。



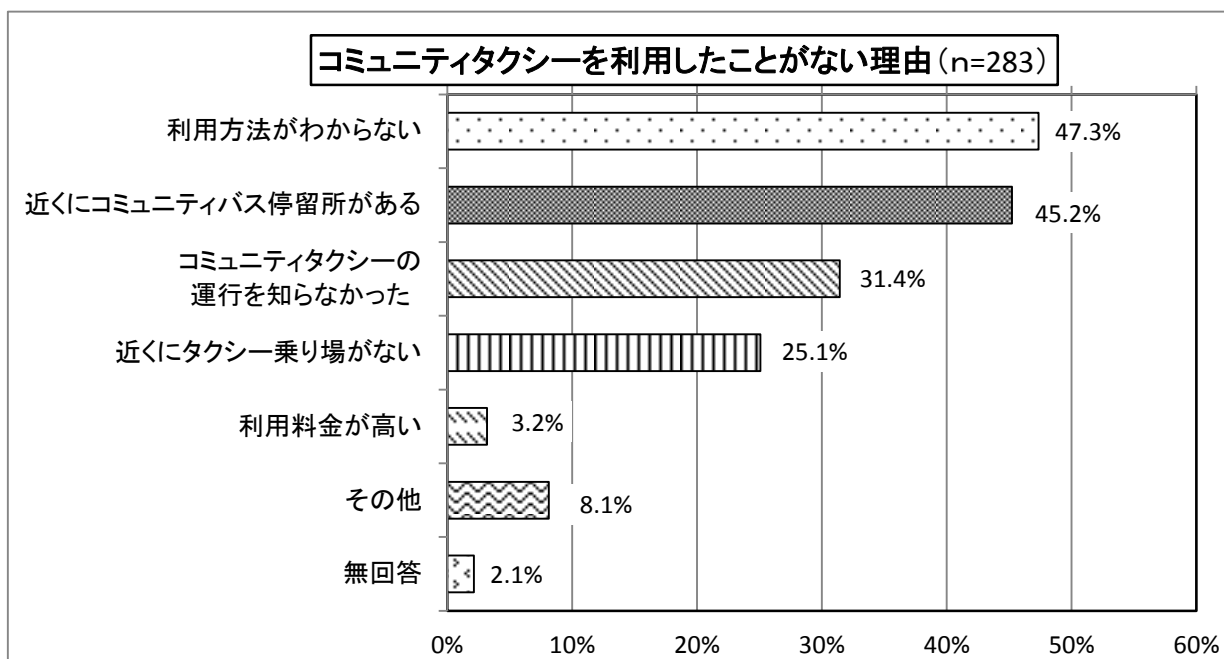
問 1 2 コミュニティバスへの連絡手段として、市内 4 4 カ所にコミュニティタクシー乗り場を設置し、コミュニティタクシーを運行しています。
コミュニティタクシーを利用したことがありますか。

○ 「利用したことがない」が 9 割以上を占め、圧倒的な割合となっております。



問 1 3 問 1 2 で「利用したことがない」を選択された方にお伺いします。
コミュニティタクシーを利用したことがない理由は何ですか。
次の項目の中から主な理由を 2 つまで選んで記入してください。

○ 下表は問 12 で「コミュニティタクシー」を利用したことが無い 283 人の回答となります。
最も多い回答は「利用方法がわからない」の 47.3%、次いで「近くにコミュニティバス停留所がある」が 45.2%、「コミュニティタクシーの運行を知らなかった」が 31.4%、「近くにコミュニティタクシー乗り場がない」が 25.1%の順となっております。
「利用方法がわからない」と「コミュニティタクシーの運行を知らなかった」の回答が多く見受けられましたので、今以上にコミュニティタクシーを周知していく必要があります。



2 コミュニティバス及びコミュニティタクシーに関する意見・要望

利用者のかたからいただきました、コミュニティバス及びコミュニティタクシーに関する御意見・御要望を大別しますと、次のグラフのようになります。

運行便数の増加、運行路線の変更、時刻表の変更等の「運行路線、時刻表等に関すること」が67.6%と半数以上を占め、利便性の向上を目指した『運行事業計画』の変更を望まれる御意見を多くいただいています。

次に、利用料金の見直し、回数券の発行等の「利用料金に関すること」が8.9%となっています。

なお、「その他」の御意見の多くは、「コミュニティバスは便利である」、「運行の継続を望む」、「乗務員が親切・丁寧である」等の運行について良い評価をしていただいたものとなっております。

